

ースタートアップ成長支援拠点 YOXO BOXー



YOXO BOX で市内スタートアップの製品・サービスを展示します

横浜市は、関内のスタートアップ成長支援拠点『YOXO BOX(よくぞボックス)』を中核として、社会課題解決に挑戦する起業家・スタートアップの創出に取り組んでいます。

このたび、横浜市の支援プログラムに参加した市内スタートアップの製品・サービス(以下、製品等)を『YOXO BOX』内で9月7日から展示します。『YOXO BOX』にお越しいただき、スタートアップの最新技術やユニークな製品をご覧ください。

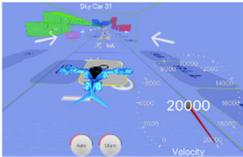
展示概要

- 1 場所 : 横浜市スタートアップ成長支援拠点「YOXO BOX(よくぞボックス)」
(横浜市中区尾上町一丁目6番 ICON 関内1階(旧市庁舎向かい))
- 2 日時 : 2023年9月7日(木)~2024年3月31日(日)
平日 10:00~18:00
- 3 内容 : 『YOXO BOX』のスタートアップ支援プログラム等に参加した市内スタートアップ10社の製品やサービスを『YOXO BOX』のラウンジ内に展示します。製品等を体験したい場合は、スタッフまでお申し付けください。

【展示製品等 (50音順)】

企業/代表者	製品等概要/参加プログラム	製品イメージ
UNTRACKED 株式会社 (保土ヶ谷区) 代表取締役: 神谷 昭勝 https://www.untracked.co.jp/	製品名: 立位機能検査装置「StA ² BLE」 高齢化が進む労働現場や介護施設において、これまで十分に評価できていなかった転倒リスクを立位年齢 [®] として見える化する立位機能検査装置を提供すると共に、計測結果に基づいた機能向上訓練による労災や事故の軽減を目指す。 ★横浜市スタートアップ社会実装推進事業 2022 試作品等のトライアル導入コース採択	
Carstay 株式会社 (旭区) 代表取締役: 宮下 晃樹 https://carstay.jp/	製品名: バンライフガレージ「Mobi Lab.」(チラシ展示) 「人々の時間と場所に縛られないライフスタイルの実現」をテーマに、最新のMobility やIT技術を通じた未来の「旅・仕事・暮らし」を共創・体験できるMobi Lab.の提案。 ★YOXO アクセラレータープログラム 2020 採択企業	
株式会社カマン (鎌倉市/西区) 代表取締役: 善積 真吾 https://kaman.co.jp/	製品名: リユース容器「Megloo」 地域共通のリユース容器をみんなでシェアすることで、テイクアウト時の使い捨て容器を削減する、リユース容器シェアリングサービス「Megloo」を展開。 ★YOXO アクセラレータープログラム 2023 採択企業	
株式会社 kitafuku (西区) 代表取締役: 松坂 匠記 https://kitafuku-project.com/	製品名: 「クラフトビールペーパー」 横浜の循環型社会への貢献に向けた、クラフトビール醸造過程で廃棄となるモルト粕をアップサイクルした再生紙「クラフトビールペーパー」紙製品の試作。 ★横浜市スタートアップ社会実装推進事業 2022 試作品等の開発・実証実験コース採択	

【裏面あり】

<p>株式会社 Safamii (西区) 代表取締役：小平 裕 https://safamii.com/</p>	<p>製品名：「Mood」(パネル展示) ユーザーの気分や感情に合った行き先提案アプリ「Mood」の開発・提供。街や地域に点在する”心地良さ”を感じるスポットを選定しモバイルで情報発信し、回遊を推進。 ★YOXO アクセラレータープログラム 2022・YOXO マネジメントプログラム 2022 採択企業</p>	
<p>株式会社 Trim (中区/港区) 代表取締役：長谷川 裕介 https://mamaro.trim-inc.com/</p>	<p>製品名：完全個室のベビーケアルーム「mamaro」(11月頃展示予定) 完全個室のベビーケアルーム「mamaro」の開発・運営。 ※2023年3月以降も展示予定。 ★YOXO BOX メンターほか</p>	
<p>Nekotronic 株式会社 (西区) 代表取締役：Benedek Aaron Sanjaya (ベネデックアーロンサンジャヤ) https://nekotronic.com/</p>	<p>製品名：多次元・自動運転の管制制御システム「SkyCar」(For UAM/AAM) (モニターでシステム画面再生・ドローン展示) 未来の「高速道路」のインフラ構築を目指し、次世代のエアモビリティ(UAM/AAM)が飛行する際に、自律的に衝突等のリスクを回避し混雑緩和を実現する新たなシステム「SkyCar」を開発。 ★YOXO アクセラレータープログラム 2022・YOXO マネジメントプログラム 2022 採択企業</p>	
<p>ビーサイズ株式会社 (港北区) 代表取締役：八木 啓太 https://www.bsize.com/</p>	<p>製品名：「BoT トーク」 「AI ロボットが子どもに付き添い、見守る」をコンセプトに開発された、No.1 子ども見守り GPS サービス「BoT トーク」の開発提供。 ★横浜ベンチャーピッチ第23回登壇ほか</p>	
<p>リスク計測テクノロジー株式会社 (西区) 代表取締役：岡崎 貫治 https://rimtech.co.jp/</p>	<p>製品名：「Motivel」「Nap Meter」(QRコード展示) 発話音声から感情を可視化し、集中力の低下を予測する AI 音声解析エンジン「Motivel」を開発。また、同じく発話音声から眠気リスクを予測する「Nap Meter」を開発。 ★YOXO アクセラレータープログラム 2020 採択企業</p>	
<p>LOOVIC 株式会社 (港北区) 代表取締役：山中 享 https://www.loovic.co.jp/</p>	<p>製品名：「LOOVIC」(タブレットでの動画再生・パネル展示) 画面を見ずに移動できる無人ナビガイドを実現する、人や場所の個性をランドマークとしたおさんぽシェアリングアプリ。広告なしで利用できる Well-being で不足も解決する。 ★横浜ビジネスグランプリ 2023 優秀賞ほか</p>	

スタートアップの創出・イノベーションの推進／YOXO

横浜市は、新たなイノベーションを横浜から創出していくため、ロゴマーク YOXO (よくぞ) を旗印として、これまでに、みなとみらい地区の研究開発拠点をはじめ、様々な企業や大学等と連携して、イノベーション人材の交流機会を形成しています。

関内の横浜市スタートアップ成長支援拠点「YOXO BOX (よくぞボックス)」では、ビジネスモデルのブラッシュアップや事業会社とのマッチング、投資家等による資金調達などスタートアップの成長・発展に向けて、各種プログラムを実施しています。

■YOXO BOX 概要

- ・名称：横浜市スタートアップ成長支援拠点「YOXO BOX (よくぞボックス)」
- ・住所：横浜市中区尾上町一丁目6番 ICON 関内 1階 (旧市庁舎向かい)
- ・営業時間：平日 10:00～18:00
- ・Web サイト：<https://socialport-y.city.yokohama.lg.jp/yoxo-box/>



■横浜市のスタートアップ支援一覧

- ・Web サイト：<https://socialport-y.city.yokohama.lg.jp/article/tag/yokohama-startup/>



お問合せ先

経済局 スタートアップ・イノベーション推進室 新産業創造課長 大橋 直之 Tel 045-671-3913

※本件は、横浜経済記者クラブへも同時発表しています。